経済指標ウォッチャー

米ISM景況感指数7月　製造業・非製造業の景況感が二極化

コロナ関連の行動規制の緩和で消費のモノからサービスへの移行が進む

ISM景況感指数とは？
全米供給管理協会（ISM）が製造業・非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国企業の景況感を示す指標のひとつ。製造業が毎月第1営業日、非製造業が毎月第3営業日に公表される。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

非製造業の景況感指数が4ヵ月ぶりに上昇

全米供給管理協会(ISM)が1日に発表した、7月の製造業景況感指数は52.8と前月の53.0から低下し、2020年6月以来、およそ2年ぶりの低水準となりました。一方、3日発表の7月の非製造業景況感指数は56.7と、4ヵ月ぶりに上昇に転じました (図表1)。

製造業は、過剰在庫により、多くの業種で新規の受注が伸び悩んだことが、景況感の悪化の主な要因とみられます。一方、非製造業は、原油価格がやや下落するなど、物価上昇圧力に緩和の兆しが見られ、新規の受注が増加したことが、景況感の改善要因となったとみられます。

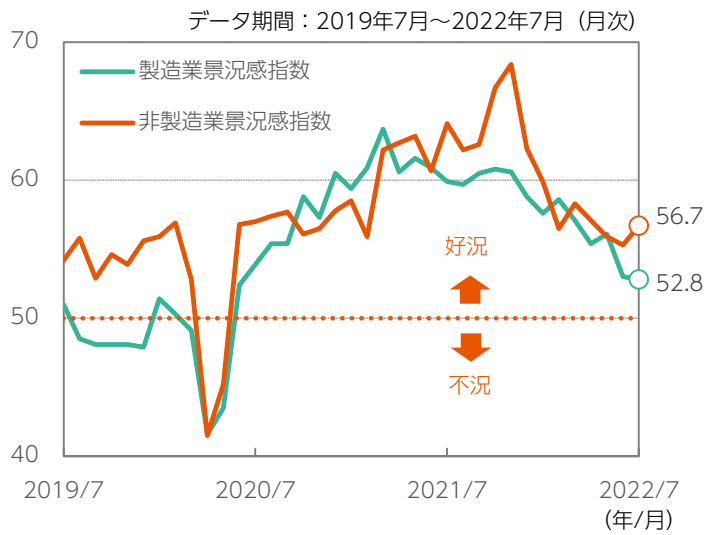
なお、業種別では、製造業は18業種中、家具や紙製品、木製品を除く11業種で、非製造業では18業種中、農業や林業などを除く13業種で業況の改善が報告されました。

消費のモノからサービスへの移行が進む

景況感指数を構成する指数のうち『新規受注』指数が製造業は6月から引き続き低下した一方、非製造業は大幅上昇となりました（図表2）。

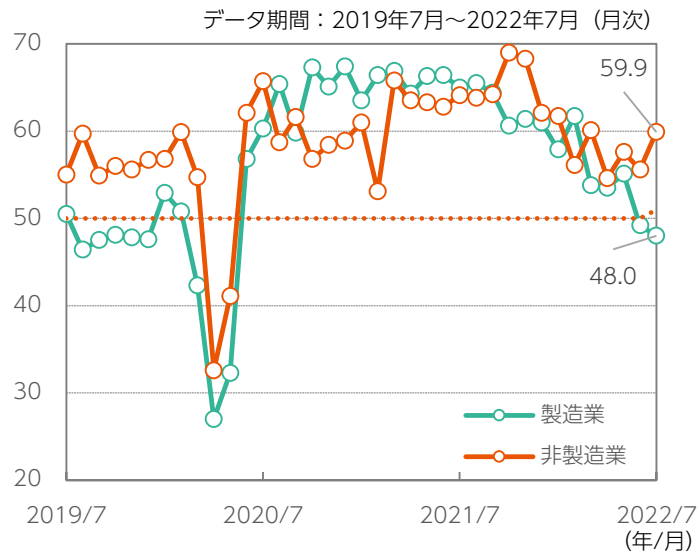
中国・上海市のロックダウン（都市封鎖）や、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化で、サプライチェーン（供給網）のさらなる混乱に備え、企業が原材料などの在庫を積み増す動きがみられました。足元では過剰在庫のため、製造業の一部の業種で、受注を減らす動きが出ているようです。経済活動の再開に向け、各国・地域がコロナ関連の行動規制の緩和を進めるなか、消費のモノからサービスへの移行がより加速することが予想され、今後は、製造業、非製造業の景況感の二極化が進む可能性もありそうです。

図表1：製造業は低下、非製造業は上昇



※ISM製造業・非製造業景況感指数の推移

図表２：非製造業の新規受注指数は大幅上昇



※ISM製造業・非製造業景況感指数の構成指数（新規受注）の推移

出所）図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

＜設定・運用＞

ニッセイアセットマネジメント株式会社

商 号 等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター　0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ　https://www.nam.co.jp/